

平成28年度 学校自己評価一覧シート

愛知県立新川高等学校

<p>教育目標</p>	<p>知・徳・体を錬磨し、国家及び社会の限らない伸展に貢献するとともに、人類が築いた文化遺産の継承発展に資する心身ともに健康な日本人を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真理と正義を愛しひたむきに学ぶ若人</li> <li>・勤労と責任を重んじいつくしみにあふれる若人</li> <li>・心と体を鍛えたくましく生きぬく若人</li> </ul>	<p>本年度の重点目標</p>	<p>共につくる魅力ある学校  <b>○生徒が力を伸ばせる学校</b>          ・日々の学習を大切に、学力を伸ばす。          ・部活動や学校行事、体験的な活動、生徒が主体的に行う活動に生徒が積極的に取り組み、豊かな心を育てる。          ・最後まであきらめず、自らの進路目標を達成させる。  <b>○教員が互いに高め合い、力を発揮する学校</b>          ・学年・教科・分掌が協力し、それぞれの立場から、生徒の進路実現を目指し、学習習慣の確立、基礎学力の定着を図る方策を講じる。          ・知識の習得・再生だけでなく、生徒が考え、話し合うことで自らの考えをより質の高いものにする授業の実践に取り組む。          ・生徒理解に努め、生徒情報を共有し、一人一人を大切にされた適切な指導・支援を行う。  <b>○保護者・地域とともにつくる学校</b>          ・保護者、学校評議員、地域の方などの意見を大切に、開かれた学校づくりを行う。          ・地域の文化資源に触れ、生徒の帰属意識を高める。</p>
<p>校訓</p>	<p>つちかい かがやけ</p>		

項目（担当）	重点目標	具体的方策	中間評価	評価結果と課題
<p>学校行事の充実 （総務・特別活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年別懇談会の充実</li> <li>・各種学校行事への生徒の積極的参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会資料を改良し、参加者の満足度をよくする。</li> <li>・学校への質問・意見等に学校として検討した答えをしつつ学校運営に生かす。</li> <li>・各行事の際に生徒実行委員会等を組織し、活動させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生の保護者を中心に、学校への質問が多かった。学校への関心が高いことの表れとみて、真摯に受け止めていきたい。</li> <li>・学校祭、学校見学会などの受付や案内など生徒が積極的に取り組み、参加者への好印象を与えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への関心の高さに応えられるような、学年別懇談会の進行を来年度も心がけていきたい。</li> <li>◆学年別懇談会とPTA総会の開催時期が近いこと、一つの行事にできないか検討したが、駐車場の確保が難しいことで、来年度は断念した。行事の持ち方は課題である。</li> <li>・各行事において、企画段階から多くの生徒が関わった。</li> <li>◆平成29年度から生徒議会を開催する。生徒議会を通して、生徒の建設的意見を、各行事で具現化していきたい。</li> </ul>
<p>学習指導の徹底 （教務）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣の確立</li> <li>・確かな学力の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習時間調査を定期的に行い、家庭学習の状況を把握する。</li> <li>・公開授業および参観授業を実施し、学校全体で知識や経験の共有化に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考査2週間前と考査1週間前の学習時間調査の結果を比較すると、1、2年生では考査2週間前では学習時間がまだ少ないことが分かる。学年会と連携を図り、継続的な学習習慣のより一層の確立を目指していきたい。3年生は、受験生としての自覚を持ちながら、継続的な学習に取り組むことができるようになってきた。</li> <li>・6月の公開授業週間を利用し、全員の先生方に授業参観と授業見学報告書の提出を依頼し、授業見学者の所見や感想が授業担当者に伝わるようにしている。10月の公開授業週間においても、学校全体で知識や経験の共有化に努めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の学習時間は増加傾向が見られ、継続的な学習に取り組んでいる生徒が多い。</li> <li>・6月及び10月の公開授業週間では、全ての先生方に授業参観と授業見学報告書の提出を依頼し、学校全体で授業力向上に向けた取組を実践することができた。</li> <li>◆休日の学習時間の減少とクラス間の学習時間の差が見られた。部活動と学習の両立を図りながら、各学年全体で学習に臨む姿勢の育成を図る対策を学年会と連携しながら検討したい。</li> <li>◆次期学習指導要領改訂に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善に向けた取組を、公開授業週間等を利用して実践していくことが課題である。</li> </ul>
<p>進路指導の徹底 （進路指導）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路情報の共有と積極的な活用</li> <li>・進路目標実現のための進路行事の充実</li> <li>・キャリア教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模試結果や進路ガイダンスを効果的に活用したり、進路情報を素早く提供する。</li> <li>・補習・模試・土曜開放などに意欲的に参加できるように図る。</li> <li>・職業・大学への関心を持たせる仕掛けづくりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模試の結果を生徒の指導に活かした。生徒に必要な進路情報が素早く伝わるように努めた。</li> <li>・学習意欲が高まるような学習環境を整えた。</li> <li>・進路選択を考えられるような進路行事を企画し、関心を高めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生の模試では、該当教科から現状の分析・課題・対策を出し、生徒の弱点を補う指導に生かすことができた。また、生徒に必要な進路情報は、素早くクラスに提供することができた。</li> <li>◆3年生は模試の回数が多く、各教科で分析を行うものの、文章化して全体で共有できていないのが実状である。来年度からはできることから対応していきたい。</li> <li>・進路行事を年間行事予定表どおりの日程で滞りなく進めることができた。</li> <li>・特に1年生で新川大学講座、学部学科ガイダンスを実施し、自らの進路に興味関心を引き出すことができた。</li> </ul>
<p>生徒指導の徹底 （生徒指導）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立と落ち着いた雰囲気のある学校生活</li> <li>・交通安全意識及び交通マナーの向上</li> <li>・情報モラルの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の校門指導などにより、ゆとりある学校生活の始まりを生徒に促す。</li> <li>・身だしなみ指導により、落ち着いた雰囲気のある学校生活を送れるようにする。</li> <li>・交通安全講話・PTAと協力した立ち番指導などにより、交通マナーの向上と事故防止を目指す。</li> <li>・PTAと協力してスマートフォン等の情報機器の適切な利用ができるよう啓発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一学期当初は、登校時間に余裕が見られたが、一学期末頃から登校時間が全体的に遅くなってきている。</li> <li>・夏服への更衣が行われた際に、服装の乱れが見られることがあった。</li> <li>・4月に交通安全講話を実施し、二学期中にはPTAと協力した立ち番指導を行う予定である。</li> <li>・全校生徒を対象に情報モラル講話を実施した。また、機会あるごとに情報モラル向上のための啓発活動を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二学期以降は、全体的に登校時間が遅くなり遅刻の数が増加した。遅刻の多い生徒に個別に指導を行ったが、一時的な改善しかみられなかった。効果的な指導方法の確立が課題である。</li> <li>・服装に乱れがみられる生徒もいる。乱れ始めの指導を徹底する必要がある。</li> <li>◆PTA生活委員会の協力で、登校時の立ち番指導を行い、登校状況の実態を知っていただくことができた。家庭の協力を得て、交通マナーの向上と事故防止のための活動を続けていきたい。</li> <li>・情報機器の適切な利用と情報モラル向上のための活動を地道に続けていく必要がある。</li> </ul>

項目（担当）	重点目標	具体的方策	中間評価	評価結果と課題
特別活動の推進 （特別活動）	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会議の充実</li> <li>より多くの生徒の主体的な関わり</li> <li>部活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会議が、連絡・承認の場にとどまらず、議論の場となるようにする。</li> <li>各行事において、より多くの生徒が企画段階から関われる仕組みをつくる。</li> <li>特別活動部と部顧問の連絡を密にし、部活動の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会議では、より充実した体育祭、文化祭とするため、各ホームルームからの意見をもとに議論を深めた。</li> <li>文化祭では、企画・デザイン段階からの美術部の協力と、各ホームルームの制作参加により、門看板を完成させた。</li> <li>部活動顧問会議を必要に応じて開いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会議での綿密な議論・調整により、体育祭・文化祭ともに、生徒は企画の意義を理解したうえで準備に取り組めた。</li> <li>体育祭、文化祭ともに、自ら役割を見つけて主体的に参加し、達成感を得られた生徒が多かった。</li> <li>◆来年度、選挙による生徒会役員選出の開始を機に、生徒の生徒会活動への関心をさらに高めたい。</li> <li>◆来年度、新設する議員には、クラスと生徒会の関わりがより密となるように活動させたい。</li> <li>◆部活動の安全をより確保できるよう、顧問にさらに協力を求める。</li> </ul>
教育環境の整備 充実 （保健）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境整備意識の高揚</li> <li>安全で清潔な環境の維持と美化活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の環境整備及び美化とゴミの分別処理・減量化を徹底する。</li> <li>教職員、生徒全員による学校美化活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの分別は、おおかたできているが、一部に分別できていない状況があり、引き続き分別を徹底したい。</li> <li>今年度は、トイレの清掃監督を工夫したため、逆に複数箇所の清掃監督をしなければならなくなった職員がいて、清掃監督者が大変であった。来年度はさらに工夫したい。</li> <li>6月の除草作業により、多くの草をとることができたが、年2回実施したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの回収は、審査中や長期休業中も日時を設定し、放送で呼びかけながら収集することができた。</li> <li>◆分別状況もよくなってきているが、職員も含め、さらに分別状況がよくなるように注意喚起したい。</li> <li>◆清掃監督を全職員で分担してできるように、さらに工夫したい。</li> <li>・昨年度の課題であった美化委員による清掃チェックを実施できた。</li> <li>◆清掃チェックの回数をさらに増やしたい。</li> <li>・保健委員会の文化祭の発表が表彰されたり、教室の換気の放送を開始するなど委員会活動を充実させることができた。</li> </ul>
健康教育の推進 （保健）	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故、けが、病気等安全に対する健康管理能力の育成</li> <li>メンタルヘルスケアの充実</li> <li>相談室の活用の充実</li> <li>健康観察の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身の心身の健康課題を理解させ、事故やけが防止の指導と事故後の早期対応を行う。</li> <li>教育相談委員会の機能性を高め、生徒情報を全職員で共有し、対応を考える。</li> <li>新しくなった相談室の活用の仕方を工夫する。</li> <li>朝のS T時に健康観察を全クラスで組織的に実施し、不調な生徒の早期発見に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケガの原因は濡れた路面でのスリップが多いことがわかり、生徒に注意喚起した。</li> <li>教育相談委員会では、生徒情報を共有し、経過報告、対応を検討した。スクールカウンセラー利用状況を集約し、情報を共有した。</li> <li>相談室を移転し、2学期から週1回、授業後に開放をしている。活用しやすい相談室にするため、さらに工夫したい。</li> <li>健康観察は、教育相談委員や担任に集約結果を配布し、不調な生徒の早期の発見に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も、昨年度に引き続き、生徒と職員の参加のもとAED講習会を実施できた。また、職員を対象にエビペン講習会を実施できた。</li> <li>◆AED講習会、エビペン講習会を今後も継続して実施したい。</li> <li>・教育相談委員会では、別室登校を提案するなど、生徒個々の状況に応じて支援を行った。</li> <li>◆多様な生徒に対応できるよう、さらに情報を共有して、対応できるように努めたい。</li> <li>・相談室を2学期から週1回開放したが、生徒の利用はなかった。しかし、個別に教員に相談する事案があったり、スクールカウンセラーに相談する場所として活用できた。活用方法をさらに工夫したい。</li> <li>・健康観察は不調な生徒を早期発見できるように、今後も継続して実施していきたい。</li> </ul>
読書指導の推進 （図書）	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館利用の推進</li> <li>読書意識の高揚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書・学習の場として、図書館の積極的利用を推進する。</li> <li>図書館の利用促進を教科や学年会と連携してすすめる。</li> <li>図書委員会活動を活性化し、図書館行事の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間の「探究活動」に、パスファインダーなどの情報提供によって図書の活用を推進している。</li> <li>図書委員の主体的活動により、「春の読書週間（読書会・花言葉特集）」・「七夕フェア」・「企画展・オリンピック」の実施や展示ケースを活用することによって、図書館活動をPRしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書委員の主体的活動による準備・運営によって、学校行事での取組・「本の福袋」など季節の行事・時の話題と連動させた図書館企画・展示を充実させることができた。</li> <li>総合的な学習の時間において、教科や学年会との連携による利用が複数あり、図書館の有効活用に広がりをもたらせることができた。</li> <li>・図書の貸出冊数、来館者数は、ともに伸び悩んだ。</li> <li>◆来年度に向けて、引き続き来館者数増加につながる図書館活動の検討が課題である。</li> </ul>
開かれた学校づくりの推進 （総務）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校見学会の充実</li> <li>学校評価制度などの積極的活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学者が満足できるように内容を工夫する。</li> <li>学校評議員会、学校関係者評価委員会などでの幅広い意見集約に努め、学校運営に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の見学会では、地域指定を工夫したため参加人数のバランスが昨年よりよくなった。参加者の感想もよいものが多かった。</li> <li>文化祭に訪れられた評議員さんから、生徒さんががんばってみえますねとのお言葉を頂いた。今後も、生徒の頑張りを見てもらえる機会を増やしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆夏と秋の見学会は、新川高校を理解してもらいよい機会になっていると考えられる。部活動見学や校内見学の方法を工夫することが課題である。</li> <li>◆学校評議員会、学校関係者評価委員会でもいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしていきたい。</li> </ul>

総合評価	<p>○キャリア教育の充実を目指し、「新川大学講座」「進路講話」及び「学部学科ガイダンス」等を通じて生徒に適切な情報を提供し、生徒が主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高める一助となる取組を実施することができた。</p> <p>○教育相談委員会を定期的に実施し、スクールカウンセラーとの連携を図りながら支援が必要な生徒情報の共有に努め、生徒一人一人への対応を適切に取ることができた。</p> <p>○生徒の登校時間が全体的に遅くなっている傾向が見られ、遅刻をする生徒が増加している。保護者との連携を図りながら、効果的な遅刻指導の方策の検討が必要である。</p>
------	---

学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	各分掌の重点目標及び具体的方策
自己評価結果について	<p>○キャリア教育の充実を目指し、生徒が主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高めることができるように、「新川大学講座」等の様々な取組がされている。</p> <p>○通学路には危険な箇所が多いが、交通安全指導で指導していただきありがたい。</p> <p>○教職員が課題を共有し、改善を行いながら指導をしてくれている。</p>
今後の改善方策について	○遅刻をする生徒が増加している点については対策が必要である。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	<p>○落ち着いた生徒が増えてきている。その一方で、一部の生徒の行動は地域の学校全体の評価につながるため、生徒全員の帰属意識の高揚を図ってほしい。</p> <p>○学校評価を行う際に生徒や保護者の意見を聞くことは大切であり、引き続きアンケート等を通じた意見の集約を行ってほしい。</p>
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<p>○学校関係者評価委員会の構成</p> <p>学校評議委員（清須市教育委員、清須市内中学校長、前PTA会長、購買職員、同窓会役員）、現PTA会長・副会長</p> <p>○評価時期</p> <p>平成29年2月10日（金）</p>